

八戸ふるさと検定知って

八学大でオープンキャンパス



学生や市民、スポーツ選手が「八戸ふるさと検定」の想定問題を解いたオープンキャンパス

八戸

「八戸ふるさと検定」の取得に役立つオープンキャンパスが10日、八戸市の八戸学院大で開かれた。学生が考えた想定問題を教材に、市民と、特別参加したスポーツチームの選手ら約30人が、地域について楽しみながら知識を深めた。

検定は八戸観光コンベンション協会が毎年実施しており、八戸の歴史や文化、自然などの分野から幅広く出題される。今回は、検定を知ってもらおうと同

協会と八戸学院大・短大が初めて開いた。

10日は、八戸学院大の1年生らが事前の授業で作成した100問が出題された。東北フリーレイズとヴァンラーレ八戸から選手やコーチ6人も参加し、答え合わせで市民と一喜一憂しながら、学生たちによる覚え方についてのアドバイスに聞き入っていた。

(田中周菜)